

2023年8月26日(土)27日(日)を中心に大阪観光大学で

# 社会教育研究全国集会 関西集会

を開催します



集会

しちごう  
漆号  
速報

2023.8.26.発行

## ようこそ、関西集会へ！！約460名が集う！

### 開会集会・オープニングセレモニー・基調提案



開会集会・セレモニー

## 主催者・来賓の挨拶

▼八月二十六日(土)、熊取町の大阪観光大学にて第62回社会教育研究全国集会の開会集会が行われ、来場者・オンライン参加者を合わせると約四百六十名が集いました。▼開会集会、オープニングでは大阪観光大学の学生の声から生まれたサークルで、メンバーには留学生も多く多国籍の八名で構成された大阪観光大学インターナショナル混声合唱団が爽やかな姿で登場し、指導の先生のピアノにのせて「見上げてごらん夜の星を」が披露され、大きな拍手があり会場が一体となりました。(水本)

▼主催者でもある社会教育研究全国集会(社全協)の姉崎委員長からの開会挨拶では本格的な対面実施で、日韓交流など集会での楽しみが語られました。憲法九条や世界での軍拡問題があるなかで、**社会教育で「学び」「実践」が希望を紡いでいく期待がある**と話されました。来賓の同大学の山田良治学長は、「学力」の上位概念に「**楽しむ力**」があること、「観光」でも学習や体験が重視されていること、それは社会教育の課題と直結するので、交流を深めていきたいと力強く語られました。▼熊取町の藤原敏司町長からは、同町は

古くから教育に力を入れてきたので、「**社会教育を通じて「長く楽しい人生を送れるよう取り組みたい**」と語られました。(井上)



村田和子さん 古里貴士さん

▼社全協常任委員の古里貴士さん、副委員長の村田和子さんから集会の基調提案が紹介されました。これまでの集会では、「**権利としての社会教育の実現**」が何度確認されてきましたが、社会は必ずしもこのような方向には動いておらず、平和を実現し、すべての人が誇りをもって生きるためには、**一人ひとりが持ち寄る「現実」に立った学習と対話**がより一層必要で、本大会では、第一回集会の初志を受け継ぎ、昭和38年に生まれた「**枚方テーゼ**」の今日的意義を今一度考え、「権利としての社会教育」の実現に寄与する理論と実践の共同の創造を目指ことが提案されました。(玉置)

速報後記：集会広報班のメンバー募集中です。速報などを発行しています。希望者は現地世話人会事務局まで。

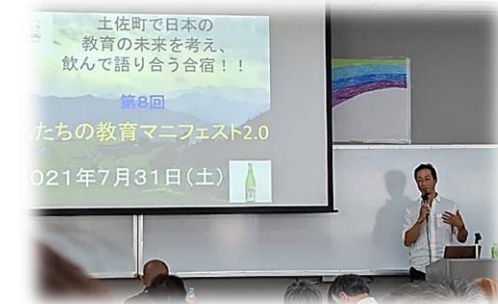
★集会中も、絶賛募集中！現在のメンバー：佐藤、玉置、吉水、輪玉、水本、舟瀬、井上、山田(班長)

ミニ講演

鈴木大裕さん

教育研究者・土佐町議会議員である鈴木大裕氏によるミニ講演「『公共性を取りもどすために』―民主主義と社会教育―」が行われました。▼新自由主義に対

抗する民主主義的運動として、シカゴ教員組合ストライキを話題提供いただきました。関西集会に対しても、参加者が、**枠組みにとらわれずに目指すべきビジョンや理想を持ち寄ってもらえたら**という熱いメッセージがありました。▼**一歩引いて日常生活を見つめなおす**”遊**び”の部分**を大切にすること、**社会教育は人間が人間らしく生きる安全装置**



だとのまとめがあり、社会を見つめ直す、視野を広げることが、人間として主体的に生きていくことにつながっていくと思われました。(水本)

リレートーク①②③  
現地からの発信

アトム保育園からの報告「五年前に同保育園の園長になったとき、どんなエリート職員が迎えてくれるのか」…でも、そうではなかったとい

います。会場には、20年間の卒園児を集めて座談会を開いたときの写真が映し出されていました。その時の子どもたちや保護者の声は「こんな保育園は他にない、家より家だった」ありのままの自分でいられた。欠点だらけで弱さを抱える職員集団だけれども、「**一生懸命に子どもや保護者に寄り添い、こんな保育園にしたい**」を共につくってきた。自慢の職員たちであることが伝わってきました。(井上)

ています。利用者単なるサービスの消費者にしている部分に、携わっている職員の皆さんの専門性を感じました。(水本)

リレートーク三人目、奈良市社会教育委員の川野麻衣子さんには「奈良市の公民館は、今」というタイトルでご講演いただきました。奈良市では、二〇〇一年、**専門性の高い職員が地域に根差して働く**ことが目指されました。しかし、公民館が市の外郭団体として位置づけられたことで、市の意向に左右され、嘱託など非専門職員の割合が増加しています。さらに今年、行政機関の移転に伴って、住民交流の場である交流スペースの縮小や、公民館24館のうち18館の非公民館化(地域自治協議会による運営)の流れが生まれました。このままでは、**国民主権・住民自治の学びの場が失われる可能性**があります。**私たちが違和感に対して声を上げなければ、今の、そして将来の私たちが形づくるものが失われてしまう**ことを改めて感じる講演でした。(玉置)



『月刊社会教育』編集委員会より～嬉しいお知らせ～

会場内 5号館2階 大講義室前の『月刊社会教育』販売コーナーにて最新号をはじめ多数とりそろえて、集会特価にて発売中!(27日まで) 9月号 特集「社会教育職員として生きる」、8月号 特集「地域と学校」、7月号 特集 関西集会特集 ほか集会受付で受け取った資料類のなかにあるチラシ(引換券)をご持参の方には、本誌バックナンバー1冊をプレゼント。会場にて定期購読お申し込みの方には、2冊プレゼント!!